



**新居町**

ふくだ りん  
**福田 梨恋**ちゃん(1歳)

生まれてきてくれた奇跡に感謝です! これからも笑顔いっぱい時間を過ごしていこうね!



**北山町**

わたなべ ちひろ  
**渡邊 地洗**くん(2歳)

ちーくんの可愛い笑顔がパパもママも大好きだよ! 健康にすくすく育ってね!



**城山町**

よしもと りくと  
**吉本 陸人**くん(7カ月)

りくとくんは、パパとママとわたるお兄ちゃんの大事な宝物だよ! 生まれてきてくれてありがとう!

**お子さんの  
 写真を掲載  
 しませんか?**

**対象者** 市内在住で掲載時に小学校入学前のお子さん(きょうだいでの応募可)  
**応募方法** 市役所広報広聴課へ写真を添付の上、メール(kouhou@city.owariasahi.lg.jp)で次の①~③を連絡。メールのタイトルは「スクスクこんにちは」としてください  
 お子さんの ①氏名・ふりがな ②生年月日 ③性別  
 保護者の ④氏名⑤郵便番号⑥住所⑦電話番号⑧コメント(40字程度)

応募用二次元コード



**柴田市長コラム**

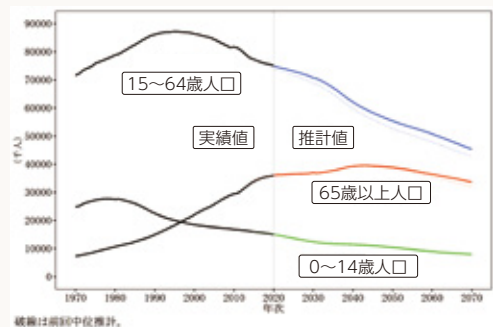


**絶滅危惧種!?**

4月下旬、厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が発表した2070年の日本の推計人口は、2020年の約1億2,600万人が約3割減の約8,700万人になるとのことです。  
 大多数の受け止め方は、「ふ〜ん、困ったものだ」ぐらいでしょうか。しかし、この深刻さは、自分の家族が2070年時点で何歳になるかを想像することで実感できます。

私でいえば、娘は約80歳、孫娘も約55歳となります。その時の日本では、15歳未満の人口は1割未満、65歳以上の高齢者が4割弱を占め、社会保障費が膨れ上がる一方で、経済活動を担う15~64歳は4割減少し、3,000万人規模の働き手が消失します。さらに、2022年に80万人を割った日本人の出生

数は、2059年に50万人を割り込むと予想されます。  
 2017年に、『未来の年表 人口減少日本でこれから起きること』(河合雅司/著、講談社/刊)という衝撃的な本が出版され、著者は、社人研の「机上の計算」を紹介する中で、西暦3000年の人口はわずか2,000人、日本人が「絶滅危惧種」に登録されかねないと述べています。  
 私が最重要課題としている少子超高齢社会・人口減少問題への特効薬は、残念ながらありません。政府の「異次元の少子化対策」、出産や育児への支援、女性や高齢者の就労促進、労働生産性の向上、コンパクトで効率的なまちづくりなど、全ての施策を投入して、「今ここにある危機」にあらがうことが肝要です。時間の猶予は、もはやありません。



社人研「日本の将来推計人口(令和5年推計)」より